

桜井地区



【地区の自然環境概要】

桜井地区は、里、川及び街の要素を持つ地区です。

水田が広範囲に広がり、周囲には幾本もの用水路が流れています。東側には酒匂川が流れ、水辺環境の多い田園風景が形成されています。周辺は、河川や河川敷などの水辺環境を好む動植物の他、田園環境を好む動植物の生育・生息の場となっています。

また、ほぼ中央に位置する栢山駅を中心に住宅地が広がり、住宅地や市街地を好む動植物の生育・生息の場となっています。



【地区で見られる動植物】

河川や水田など水辺環境が特徴的であり、このような環境を利用する動植物の生育・生息の場となっています。良好な田園環境は、その環境のみで生育・生息できる種の貴重なすみかでもあり、大切に守っていききたい環境です。

- 栢山一帯は水田が広がる農耕地で、オモダカやコナギ等の水田雑草が生育しています。アズマモグラ等の哺乳類、ヒバリやスズメ等の鳥類、ニホンアマガエル等の両生類、アジイトトンボ等の昆虫類などが見られ、水田環境を特徴づける種が生息しています。¹また、タイコウチやコオイムシ（絶滅危惧種）、よい水質の指標であるナベバタムシ等の水生昆虫も確認されています。周辺では、アマサギも確認されていますが、確認数は非常に少なく、激減している種のひとつとされています。²
- 「栢山神社」周辺は植栽林や住宅地が広がり、オオイヌタデやドクダミ、カタバミ等の植物、キジバトやツバメ等の鳥類、ニホンヤモリ等の爬虫類、クマゼミ等の昆虫類など、緑の多い住宅地を特徴づける種が生息しています。³
- 酒匂川沿いは河川、草地が広がる河川環境が広がり、ネコヤナギやチガヤ、オオカワヂシャ等の植物、アオサギやコチドリ、セッカ等の鳥類、ツチガエル等の両生類、ハグロトンボやヒメガムシ等の昆虫類が見られ、水辺環境を特徴づける種が生息しています。⁴また、市の鳥であるコアジサシ（絶滅危惧種）などの希少な鳥類も確認されています。⁵

¹ 参考：平成 30 年（2018 年）～平成 31 年（2019 年）に実施した現地調査結果

² 参考：平成 29 年（2017 年）～令和元年（2019 年）に実施したヒアリング調査結果

³ 参考：平成 30 年（2018 年）～平成 31 年（2019 年）に実施した現地調査結果

⁴ 参考：平成 30 年（2018 年）～平成 31 年（2019 年）に実施した現地調査結果

⁵ 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

- 魚類では、酒匂川で、シマヨシノボリなどの河川中流域でよく見られる種のほか、ヒガシマドジョウやカマツカなどの砂礫底を好む種が生息しています。仙了川では、緩い流れを好むドジョウのほか、オイカワやアユなどの河川中流域でよく見られる種が生息しています。また、寺下排水路では、緩い流れを好むドジョウのほか、カマツカなどの河川中下流域でよく見られる種が生息しています。⁶



タイコウチ

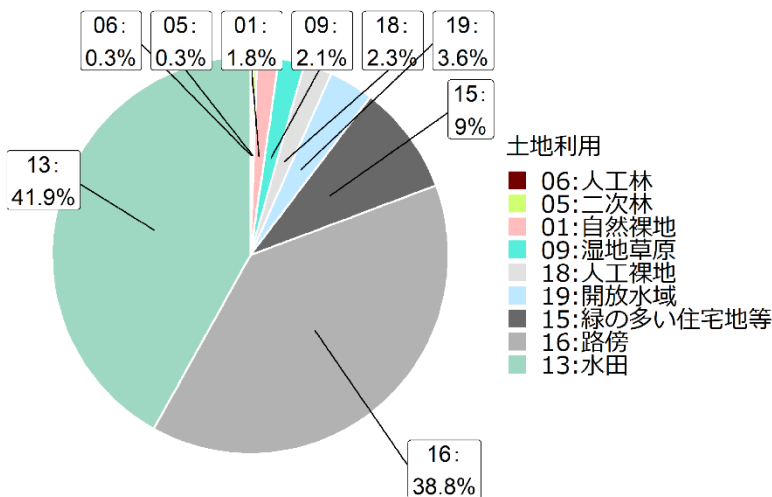


アオサギ

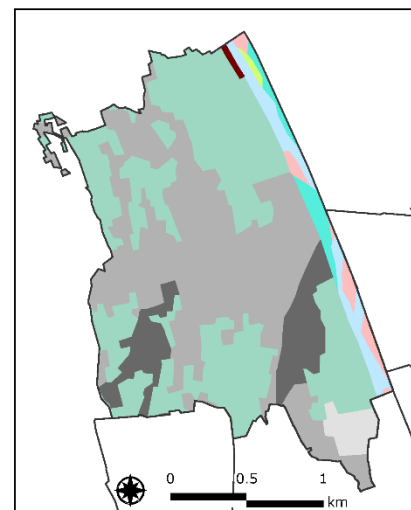


ツチガエル

- 植生図をもとに作成された土地利用を見ると、水田と路傍がそれぞれ約4割と広範囲を占め、一部で緑の多い住宅地が見られます。酒匂川周辺は、開放水域や湿地草原、自然裸地等の水辺環境が見られ、土地利用の約1割を占めています。また、北東部の酒匂川沿いには人工林も見られます。⁷



桜井地区の土地利用割合



桜井地区の土地利用

【暮らしと自然のつながり（生態系サービス）】

スポーツの場や身近にある緑、食の供給、生活環境の調整など、日々の生活の中で自然環境からの恩恵を受けています。

～文化的つながり～

- **スポーツの場**：酒匂川河川敷は、自然の中、軽快なサイクリングを楽しむことのできる「酒匂川サイクリングコース」として活用されています。
- **神社・寺院**：神社や寺院が多数あります。社寺林は、生活の身近にある緑として住環境の向上や心の安らぎに寄与します。また、一般的に神社・寺院の境内は、こどもの遊び場としても役立ってきました。

⁶ 参考：平成30年（2018年）～平成31年（2019年）に実施した現地調査結果

⁷ 出典：日本全国標準土地利用メッシュデータ（国立環境研究所）

- **その他の資源**：足柄平野では、平野の上流部や箱根火山外輪山から涵養された河川水や灌漑用水、地下水などが、平野中・下流部に分布する難透水層によって被圧され、大井町南部から小田原市北部を結ぶ線と、国道 271 号(小田原厚木道路)とで挟まれる範囲に自噴域を形成しています。⁸本地区における自噴井戸は 126 井（栢山、曾比の合計）確認されており、地下水が地表面に湧出する様子が地域の豊かな水環境をかもしだしています。⁹
- **景観スポット**：小田急小田原線の栢山駅と富水駅間は、車窓から広がる田園風景と箱根の山並み、富士山のパノラマを楽しむことができます。春のレンゲソウや菜の花、田植えの水を張った水田、稲の緑が眩しい夏、黄金色の稲穂の秋など四季の彩りも豊かです。¹⁰

～食のつながり～

- **米**：広範囲を占める水田は、市内でも上位¹¹の面積を保有しており、食を供給しています。

～生活環境とのつながり～

- **防災・減災**：北東部にある酒匂川の霞堤は、洪水時に流れの一部を逃し、勢いを弱めたり、洪水で氾濫した水を下流で再び川に戻すというもので、治水対策として戦国時代から用いられている技術です。¹²
- **水の調整**：森林などの生態系には、降水を地下へ浸透させるなどして緩やかに流下させる機能があります。その機能の一部である地下水への涵養量を評価¹³すると、市内で 3 位となります。

【地区で見られる特徴的な自然】

鳥獣保護区や里地里山保全の対象地域に指定されるなど、大切に守り残していきたい自然環境が存在しています。

- **鳥獣保護区**：「酒匂川」は、希少鳥獣生息地（環境省レッドリストまたは神奈川県レッドデータ生物調査報告書において絶滅危惧が高いランクにある鳥獣の生息地であって、これらの鳥獣の保護上必要な地域）として、鳥獣の捕獲を禁止し、その生息環境を適切に保全しようとする区域として、神奈川県鳥獣保護区に指定されています。
- **生物多様性保全上重要な里地里山・神奈川県里地里山保全等地域**：東栢山は、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、次表のとおり保全地域に選定されています。

⁸ 出典：足柄平野の自噴井湧水について（宮下雄次）

⁹ 出典：酒匂川右岸地域の自噴井戸（日々野英俊ら）

¹⁰ 出典：小田原ふるさとの原風景百選（小田原市環境部環境政策課，平成 19 年（2007 年））

¹¹ 出典：農林業センサス 2015

¹² 出典：小田原ふるさとの原風景百選（小田原市環境部環境政策課，平成 19 年（2007 年））

¹³ 出典：環境省(2016) Japan Biodiversity Outlook 2. <http://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/index.html>

生物多様性保全上重要な里地里山（環境省選定）概要

名称	選定理由	保全活用状況
東栢山	市の北部に位置する、酒匂川の沖積低地であり、地下から伏流水が自噴する水田地帯が広がる地域である。 水田地帯を網目状に走る水路によって、酒匂川と一体となった水環境の連続性が確保されており、シマドジョウなどの魚類や水生生物の重要な生息地となっている。また、周辺丘陵地、屋敷林などもみられることから、ホオジロやカシラダカなど里地里山に特徴的な鳥類も確認されている。	箱根と隣接する久野地区に入会地として共有林を保有しており、現在も地域の森林組合が管理を行う。

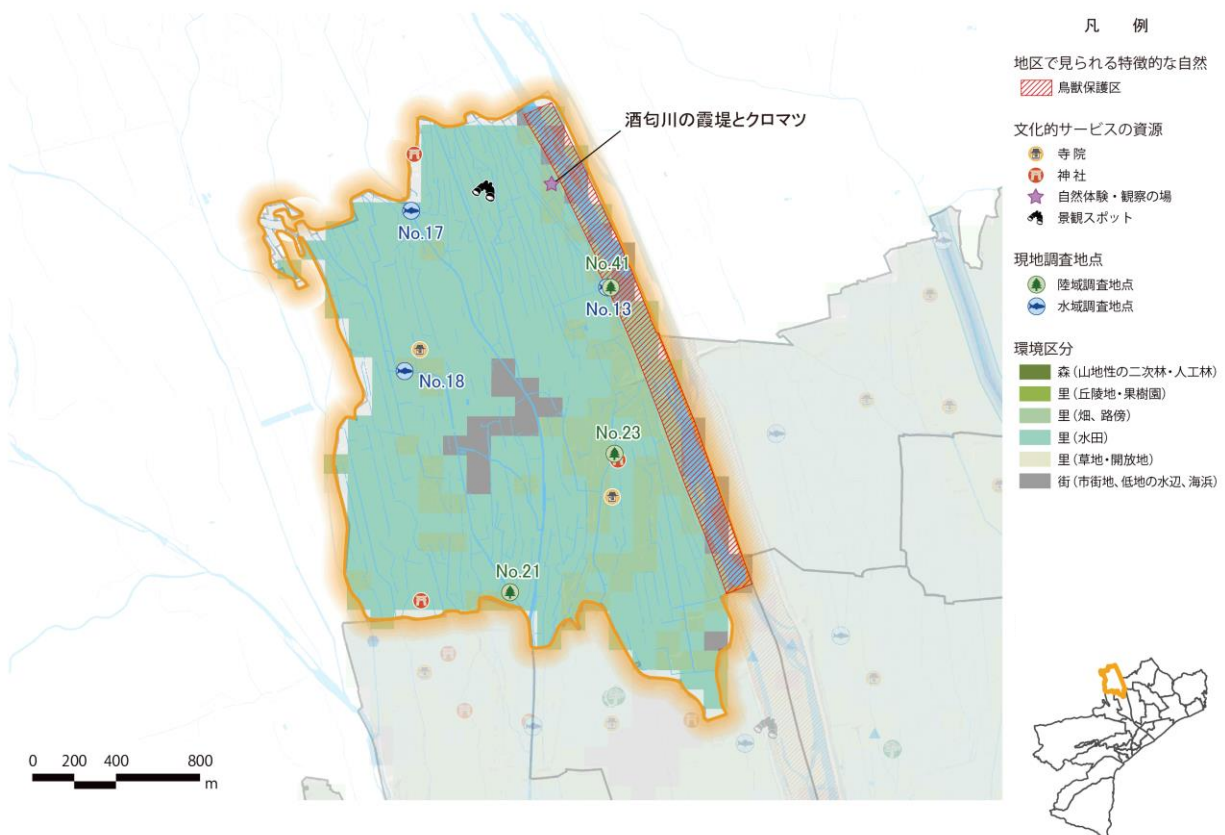
※出典：生物多様性保全上重要な里地里山 <https://www.env.go.jp/nature/satoyama/jyuyousatoyama.html>

里地里山保全等地域（神奈川県選定）概要

名称	所在地	概要
小田原市東栢山 里地里山保全等地域	小田原市栢山及び曾比の一部	小田原市の北部に位置し、東には酒匂川が、西には狩川の支線である仙了川が流れ、地下から伏流水が自噴する平野部で、美しい田園風景が残る地域

※出典：かながわの里地里山 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/cnt/f300562/index.html>

- **重要地点**：平成 29 年（2017 年）～30 年（2018 年）に実施した自然環境調査結果の評価・分析を行ったところ、現地調査結果を踏まえ重要種が多いと評価された現地調査地点「**陸域 No.41（酒匂川中流部（報徳橋付近））**」を将来に渡り守っていくべき重要地点として選定しました。



桜井地区の自然環境マップ